

【令和3年度 学校関係者評価報告】

1. 開催日時 令和4年3月26日(土) 10時30分～12時
2. 開催場所 札幌どうぶつ専門学校 3階教室
3. 出席委員 企業関係者2名 地域住人1名 卒業生1名 学校側2名
4. 会議内容

学校側から自己評価表に対する説明及び委員からの意見

(1) 教育理念・目標

- ・例年通り教育理念、目標に向かい適切な運営を心掛けている。
- (意見) ・学校の理念、教育目標に沿った業界が求める人材を育てることを今後も続けてもらいたい。

(2) 学校運営

- ・年間の事業計画については、一部行事を縮小して実施。
- ・給付奨学金の充実と修学支援制度(授業料の補助)により入学生が増加した。
- (意見) ・実施できた事業があれば教えてもらいたい。
- (学校) ・従来の東京研修をニセコ研修に変更して実施しました。

(3) 教育活動

- ・新型コロナの影響が続き、リモート授業も行われたが、感染症対策の充実を図り対面授業を実施することで教育の充実を図った。また、酪農学園大学との教育連携が実施された。
- ・教職員の指導力の充実
- (学校) ・9月の看護学科2年が酪農学園大学で講義を受け、新たな教育のスタートとなり、新年度からの本格的な授業の実施が行われる。
- (学校) ・教員が小中学校などと違い「教育課程」を学んできていないので、専門分野以外難しい面がある。
- (意見) ・店側も教育するプロではないので、入社した子へ教えるのは難しい。お互い協力して勉強したいと思う。
- (意見) ・酪農学園大学との連携教育に期待をしたい。
- (意見) ・教える側と学生に年々歳の差を感じる。教育は難しい。

(4) 学修成果

- ・就職に関する求人は、このコロナ禍にあっても減少することなくいただいた。今年度は1名認定動物看護師資格を取得できず就職を辞退した。
- ・トリミング試験で、資格の取れない学生がいた。
- ・退学者は0人ではないが、少なく成っている。
- (学校) コロナ禍の中、実習授業を含め授業の方法等検討したい。
- (意見) ・就職にも繋がることなので、学生にとって良い授業を提供していただきたい。

(5) 学生支援

- ・新型コロナ対策を引き続き実施。
- ・生活環境への支援にも限界がある。

(6) 教育環境

- ・学生増に伴い、教育環境整備を進めている。

(7) 学生の受入れ募集

- ・広報について実績の検証が難しい、前年度等の比較ができない(コロナ禍によって相談会等が中止)
- ・広報媒体を選ぶのが難しい。
- ・オープンキャンパスに来た学生の入学が多い。
- (意見) すべての媒体を活用するには経費が掛かると思うので、検証して選択することも必要ではないか。

(8) 財務

- ・少子化が進み、中長期的には厳しい時もあると思う。
- (意見) 国・道などの助成金制度の活用や、経費の見直しなどを考える必要があると思う。

(9) 法令等の遵守

- ・個人情報に関し、データ等等の管理が難しくなっている。
- (意見) ・個人情報等各種データの管理についてはこれまで以上に管理徹底を望みます。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・セラピードッグ育成授業を通じて、児童施設への支援活動を実施。リモート活用も多かったが、コロナ状況を見て、現場実習も行われ子供たちの元気な様子を見て効果が出ていることが確認された。次年度に繋げることを先生と確認した。

(意見) 大切なことなので引き続き行われるよう期待している。

(11) 今後への取組について

各委員から頂いたご意見・ご指導を踏まえ、今後本校において問題点の改善に取り組んでいくこととする。